



# 園だより

2023年12月 取手幼稚園

それぞれが1年を振り返り、思いめぐらせる季節になりましたね。今年は(も)幼い命が失われたり、傷つけられたりするニュースに心を痛めたことが何度あったことでしょうか。一方で私は、子どもたちからたくさんの喜びを貰いました。子どもたちと共に過ごす時、笑わない日はないのです。子どもは本当に天使ですね。大人の疲れた心をも癒し励ますこの子どもたちの笑い声がいつまでもいつまでも続くことを願ってやみません。そして世界中の子どもたちが愛されて育ちますようにと心から祈ります。取手幼稚園では、クリスマスまでのこの時期をアドベント(楽しみに待つという意味)と呼び、週ごとにろうそくに火をともしたり、アドベントカレンダーをめくったりしながら過ごします。そしてサンタさんに何をお願いするのかを楽しみにするとともに、もらうだけでなく与える喜びを大切にしています。幼いころのクリスマスの暖かい思い出は、いつか誰かに暖かさを与えることにつながっていくと信じています。

〈園長小林路津子〉

## 園主題 『いっしょに生きていく』

年間の主題	『ともにつむぎだす ~希望の中で~』
12月のねらい	「喜び合う」「うれしいね」

### 〈保育の願い〉

ばらぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 本当のクリスマスの出来事を知り、それぞれに与えられた役を大切にして自分なりの表現ができることによって自信に繋がっていく。</li> <li>② クリスマスの喜びの中、世界の国々にも目をとめ関心を深めながら自分たちの過ごし方を共に考える。</li> <li>③ 寒さの中でも戸外で体を動かし鬼ごっこ等ルールのある遊びを楽しむ。</li> </ul>
すみれぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 友達とルールのある遊びを楽しみ、ルールを守ろうとする。</li> <li>② この時期ならではの遊びや行事の雰囲気や友だちや保育者と一緒に楽しむ。</li> </ul>
たんぽぽぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 遊びを通して、子ども達と心を一つにする経験をする。</li> <li>② 寒さの中でも戸外では体を動かすことを喜ぶ。</li> <li>③ イエスさまが私たちのためにお生まれになったことを知り、喜ぶ。</li> </ul>
ももぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① クリスマスの雰囲気を感じながら楽しく過ごす</li> <li>② 冬の訪れを感じる。</li> </ul>
すずらんぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 保育者やお友達と喜びを言葉や身体で表す。</li> <li>② 風や空気の冷たさなど、冬の訪れを感じる。</li> </ul>
つぼみぐみ	<ul style="list-style-type: none"> <li>① 思いを言葉にしてもらうことで、安心し、満たされる</li> <li>② 外気に触れながら、冬の訪れを感じる</li> </ul>

## 〈12月の予定〉

6日(水)	英語の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	21日(木)	ページェント(幼児クラス)
11日(月)	誕生会	22日(金)	終業式
13日(水)	体操の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	25日(月)~27日(水)	個人面談(幼児クラス)
18日(月)	ページェント予行(写真撮影)	25日(月)~1月8日(月)	1号認定児冬休み
20日(水)	英語の日(幼児クラス) ありんこくらぶ	-----	
21日(木)	クリスマス礼拝(幼児クラス)	29日(金)~1月3日(水)	年末年始休業日(休園)

※18日ページェント予行の日は石引写真館さんによる撮影があります。

### 〈始業日について〉

- ・1月4日(木) 2・3号認定児始業日
- ・1月9日(火) 1号認定児始業日(始業式)

※1号認定の方はお弁当を温めますので、アルミ製又は熱に強いお弁当箱にお願いします。

### 〈クリスマスページェント(聖誕劇)って?〉

イエスキリストの誕生の物語を子どもたちが演じます。かみさまはこの世でもっとも弱く貧しいとされる人々の為の救い主としてイエスさまを誕生させて下さいました。聖誕劇を通して、世界中の様々な状況にいる人たちの事を覚え、クリスマスはプレゼントをもらうだけの日ではなく、あげることの大切さを考えてこの時期をすごしていきます。聖誕劇では、全ての登場人物がそれぞれに大切な役割を持っており、そのどれかを欠かすことはできません。『みんなが主役』です。今年のクリスマスもお家の方と一緒に迎えられるようお願いながら過ごしていきます。今年は幼児組全園児でクリスマスをお祝いしましょう。

### 12月生まれのおともだち

4日	☆☆☆☆☆ちゃん	(たんぼぼぐみ)
7日	☆☆☆☆☆☆☆くん	(ばらぐみ)
9日	☆☆☆☆☆ちゃん	(つぼみぐみ)
15日	☆☆☆☆☆くん	(ばらぐみ)
16日	☆☆☆☆☆☆☆くん	(すみれぐみ)
20日	☆☆☆☆☆☆☆ちゃん	(たんぼぼぐみ)
20日	☆☆☆☆☆くん	(ばらぐみ)

おたんじょうびおめでとう!

### 今月の聖句

今日ダビデの町で、あなたがたのために救い主がお生まれになった。  
この方こそ主メシアである。  
ルカによる福音書 2章11節

# クラスみにみに通信

## 《ばらぐみ》

作品展までは、海が出てくる絵本を読んで、魚の図鑑を広げ、海の魚のDVDを見て、時には私のパソコンを保育室に持ち込んで、みんなで魚について海について調べる毎日でした。「せんすいかんをつくろうよ！」子どもたちの声から潜水艦作りが始まりました。ばらぐみパーティの時のピニャータを思い出し、「同じ方法でハリセンボン作れるんじゃない？」と言ってくれた子の声からハリセンボンを調べていきました。ハリセンボンは普段は膨らんでいないけれど敵を威嚇する時に針を出して膨らむことを知りました。何かに向かって取り組んでいる時、新しいことを知った時、子どもたちの目はキラキラ輝いています。クリスマスではイエス・キリストの生誕劇の中心を担います。先日役決めをしました。一人ひとりが大切な役を演じていきます。近頃はおかえりの時間になると「ねえ！早いんだけど！もっと遊びたいんだけど！」と詰め寄られることも。みんなと一緒にいるとき、一分一秒が大切な時間です。《園長》

## 《すみれぐみ》

作品展に向けて大盛り上がりだったすみれ組。みんなで輪になり、共同で作るクラス作品の話し合いでは、自分の作りたいもののぶつかり合いでした。この話し合いで自分の意見も伝え、お友だちの意見も聞くことが少しは育まれた気がします。そして、サメ（ホホジロザメ）に決まり、作るには何が必要なのかも自分達で考えました。のりや絵の具を塗る時、始めは刷毛を使っていたのですが、気が付くといつの間にか刷毛は使わず手で「サメさんのマッサージ！」と言いながら、その感触を楽しんでいました。保育室の床は絵の具の足跡だらけ。私がお掃除をしなくちゃと思っていると、子ども達が自らお寺の子どものように雑巾がけをされていて思わず笑ってしまいました（笑）サメの歯も発泡スチロールで作る予定だったのですが、1人のお友だちが歯を付ける日の朝、「どんぐりで歯を付けたい！」ととても素晴らしい案が…！！朝のうちにどんぐりに白い絵の具で色を付け、1人1個ずつ歯を付けていきました。当日もお家の人の手を引いて自分の作品を嬉しそうに紹介する姿もあり、作品を褒められた時の子どもたちの笑顔はとてもキラキラしていました。クリスマスにお正月と、年末年始に向けて楽しい行事が続きますね。子どもたちといっしょにそれぞれの行事の意味を考えながら、12月も楽しく過ごしたいと思います。《H. N.》

## 《たんぽぽぐみ》

作品展の製作活動などでは、子ども達の好きな部分と得意な面が出せた様に、感じました。色を染める ハサミで切る 貼り付けるなどの工程も手際良く、進めて行けました。製作様子を見ていてちょっと苦手かな？と、感じた場面でも、黙々と取り組みそれ自体を楽しく進めていた様子を見て「やり遂げる」という成長を感じる事が出来ました。また、作品が一つ一つ出来るたびに、「よしっ！出来たね」と、言い合って満足そうな表情をしていた事も、印象的でした。7人の力に、ほんの少し私に加わり作り上げた作品。皆んなで力を合わせて何かを作るという楽しさを、学んだと思いました。《O. K.》

## 《ももぐみ》

肌寒い日が増えてきましたが元気いっぱい遊んでいる子ども達。先日、広場で芝すべりをしてきました。少し急な角度なのですが子ども達にとって丁度いいスピード感があり、どの子も大興奮で声を出しながら大笑いで滑っていましたよ。もう一度滑る為にはまた上に上がらなければなりません。子ども達は何度も手を使いながら夢中で駆け上っていました。中には駆け

上る時挫けてしまう子もいましたが、その姿を見て周りの子が「大丈夫？一緒にいこう！」と手を貸そうとしたり後ろからお尻を押して手助けしていました。自分のことだけではなく子ども達なりにお友達の事を考えながら行動していて驚きました。助けてもらった子もお友達の力を貸りながら頑張っていました。成長を感じますね。12月はクリスマスの雰囲気を感じながら楽しく過ごしていきたいと思います。《Y. M.》

### 《すずらんぐみ》

足腰が強くなり歩くのが上手になった子どもたち。最近のお散歩ではカートにのらず、保育者と手を繋いで長い距離歩くことがとても増え、お友達とも自然と手を繋ぐようになりました。お友達と歩幅が合わずに転んでしまうこともあります。転んだお友達に「だいじょうぶ？」と心配する様子が見られたり、それに対して「だいじょうぶ！」と応えて、また楽しく歩きだし、子ども同士で手を繋ぐことはとてもいい刺激になっているように感じます。先日、初めて絵の具を使って手形をおして遊びました。最初は戸惑いながらも保育者の見本を見てすぐに始める子や慎重になってなかなか手に絵の具をつけれない子など色々な反応がありました。一度始めてみると夢中になって手のひら一面赤やオレンジ色にして何枚もペタペタ楽しんでいましたよ。また、最近は演技がとても上手で、保育者になりきってみたり、いつも1人で渡れる園庭遊具のグラグラ橋でわざと「怖いよ」と助けを求めてみたり、クスッと笑ってしまうエピソードがいっぱいです。今後も園での可愛い姿を沢山保護者の方々にお伝えし、あたたかく成長を見守っていききたいと思います。《K. Y.》

### 《つぼみぐみ》

お散歩では、道行く近所の方と挨拶を交わし「かわいいねー」の言葉に、「うんっ！」とうなづいたり、「うちの孫はさ〜」と会話したりする大切な地域交流の場になっています。子ども好きの犬が「ワンワンッ」と柵越しに尻尾を振り駆け寄ると、何事かと驚き、恐る恐る見る姿も可愛らしかったです。車と園の往復だけになりがちな子ども達にとって、本当に大切な経験です。猫を10匹もお世話しているおばあちゃんが「この猫ちゃん達がいないと自分はここでは暮らしていないのよ。」と生き甲斐を話し、お魚の粗を買ってきて、煮てキャットフードと混ぜてあげたり、寒く無いように沢山毛布を用意してあげたりしているそうです。毎日お散歩してそんな会話を交わす中で、温かい心が育っていくのでは無いかな…と感じました。お互いに、触れ合って声を交わして、人との関わりを経験できて素敵な時間です。歩ける子は保育者と手を繋いで歩いてみたりして楽しんでいきたいと思います。《Y. M.》

---

※ Web配信の「園だより」では、個人情報保護の観点から、一部のお名前の表記を伏せ字(☆☆☆☆☆☆)またはイニシャル文字とさせていただきます。